

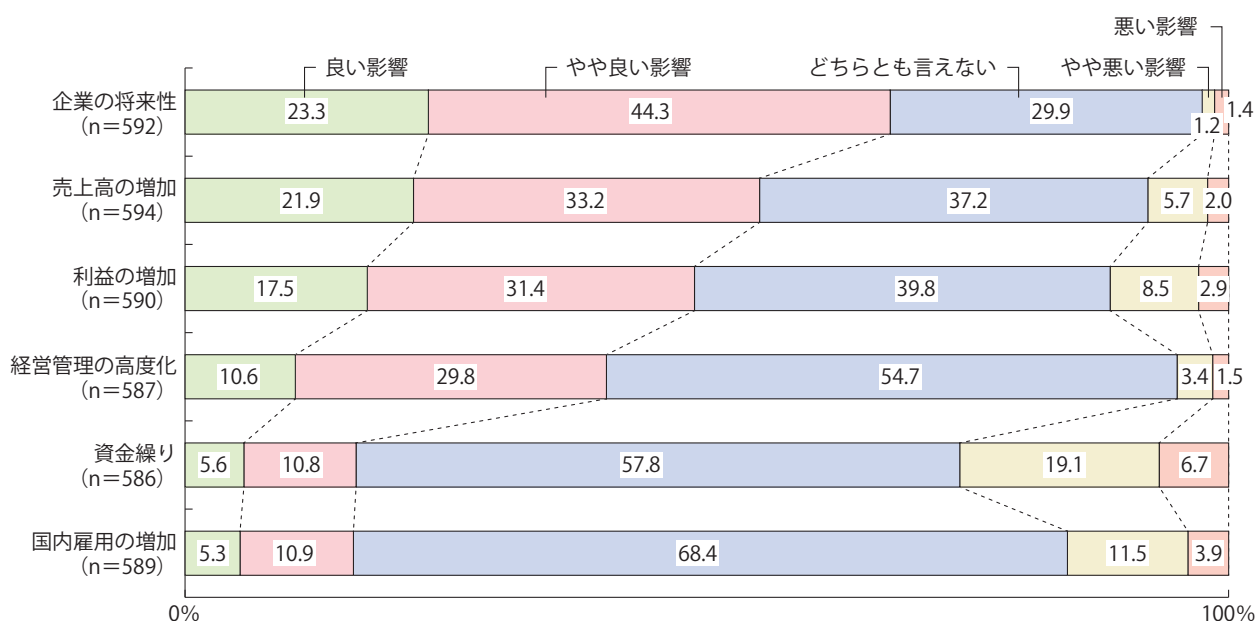
#### 4. 直接投資の成功と失敗の分かれ道

次に、直接投資の成功と失敗の要因について見ていく。まず、直接投資先の機能別に、国内事業に与えた影響を見ると、「企業の将来性」では、生産機能と販売機能の直接投資のいずれも、良い影響が出たと回答する企業が7割前後となっている。続いて、「売上高の増加」、「利益の増加」、「経営管理の高度化」で、良い影響があったと回答する企業が多い（第3-4-24図、第3-4-25図）。

また、「国内雇用の増加」について見ると、生産機能と販売機能の直接投資のいずれも、悪い影響があったと回答する企業は少ない<sup>14</sup>。

一方で、「資金繰り」については、生産機能と販売機能の直接投資のいずれも、良い影響があったと回答する企業よりも、悪い影響があったと回答する企業が多く、2割以上の企業が直接投資の開始により、資金繰りの悪化を感じている。

第3-4-24図 直接投資（生産機能）の開始によって企業の国内事業に与えた影響



資料：中小企業庁委託「中小企業の海外展開の実態把握にかかるアンケート調査」（2013年12月、損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント（株））

（注）最も重要な直接投資先の機能として、「生産機能」と回答した企業の、直接投資の開始による国内事業への影響の回答を集計している。

<sup>14</sup> 詳細は、コラム3-4-1を参照。